

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 10月 9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201195		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム桃太郎		
所在地	広島市西区小河内町1丁目8番1号		
自己評価作成日	令和2年9月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490201195-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年10月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者様に心穏やかに暮らしてもらうため、家庭に出来るだけ近い環境で、ご利用者の方々が安心した生活を送れるよう、家族の気持ちで介護する事を念頭にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営理念【「相手本位の心」の下、さりげない日々の生活から、心の癒しが実現出来るよう、家族の気持ちで介護する…。それが私たちの誇りです】を目指すケアを実践している。医療面に関して、月1回（内科・歯科）訪問診療、月1回（皮膚科・心療内科）訪問診療、毎週（月）訪問看護ステーションとの連携、24時間連絡体制が整っている。その人らしく最期まで過ごして頂く為、重度化した場合、指針に基づいて家族・医療チーム・職員等多職種とカンファレンスを重ね、方向性を定め手厚い終末ケアがなされている。運営推進会議で同時開催される家族会では、家族間の交流も深まっている。日頃から職員の思いや提案・現場の声が直ちに上司に伝わり、まずは実践に繋がる等風通しの良い、働き甲斐のある職場作りがなされている。

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	経営理念であるご「利用者様の満足」を職員で共有し、実践につなげている。	〔理念「相手本位の心」家庭的で落ち着いた雰囲気の中で毎日を過ごして頂ける〕を職員全員が周知して情報共有し、家族の気持ちで毎日のケアを実践している。職員も個人目標を立て、半年ごとに振り返りを行い、行動目標に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	昨年度は地域の亥の子祭りがありそれに参加、交流もありましたが、今年はコロナの影響で地域の行事に参加できていません。	町内会に加入し、回覧板を回している。地域性もあり、交流は希薄ではあるが、昨年は運営推進会議参加者の町内会長から地域行事「亥の子祭り」の要請があり準備の段階から参加をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方がに向けた認知症や介護の相談窓口はあっても、地域の方々に周知されているとは言えない。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍以降は運営推進会議が開かれていないが運営推進での意見は職員間で共有し今後のサービス向上につなげる必要がある。	運営推進会議は家族・訪問歯科・訪問マッサージ・訪問看護・職員等で構成され定期的に開催され活動状況、入居者の様子等報告されている。又、家族会も同時開催、意見交換の場となるよう雰囲気作りに努めている。コロナ禍で開催が困難な現状ではあるが、書面を通じての報告や意見、助言を頂けるよう送付している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の中で状況を報告し、問題があれば相談し、解決に努めている。	状況報告や事故報告などの問題解決の相談、アドバイスを頂く等、市担当者との協力関係性が密に築けるように取り組んでいる。市町主催の研修、勉強会には出席参加している。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束についての研修や勉強会を行い、身体拘束をすることによって、高齢者にどのような弊害があるか理解したうえで身体拘束を行わないケアに努めている。	定期的に「身体拘束しないケア」について同事業所グループ内の研修やグループホーム内で事例をあげての勉強会を行い、知識を深め、利用者の身体的、精神的に影響があるか正しく理解して、本人に寄り添う支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に行われる勉強会や高齢者虐待に関する研修を通じて、職員が不適切なケアを行わないよう注意を払い虐待防止に努める。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者様の生活の質の向上を目指し、研修等を通じて権利擁護についての知識と理解を深めそれらを活用できるよう利用者様と関わっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際等のご利用者様やご家族様に対して十分な説明を行っており、途中で疑問に思われた事や意見等に対して誠意を持って対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様や家族様からのご意見はカンファレンスを通じて職員間で共有、議論し可能な限り要望に応じられるよう努めている。	面会時や運営推進会議、家族会開催時が家族同士の交流の場となり、意見が出しやすい環境づくりがなされている。貴重な意見・要望は職員間で情報共有し、事業所運営に活かせるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の全体会議や各位のユニット会議で職員の意見や提案を聞き、解決や実行に向けての話し合いを行っている。</p>	<p>職員の意見や提案を発言できる場を設け、個々の意見がユニット会議、全体会議を通じて話し合いを行い、実行している。手作り料理や個別のアルバム作成等職員の意見が反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の意見や、思いを言いやすい環境に努めている。問題が起きた場合等には早急に対応できるように努めている。又、直接、社長に思いが届くように目安箱を設置して対応している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれの能力に合わせた研修への参加や事業所での勉強会を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者との交流する機会は、無い。今後の課題である。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>グループホームでの生活に一日でも早く慣れていただけるよう、積極的に声掛けを行い、関係づくりを築きながら馴染みの関係の構築に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様のニーズとご本人様のニーズをしっかりと聞き、職員間でも問題や情報を共有しケアを行っている。小さなことでも耳を傾けるよう努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前のアセスメントを基にご利用者様の行動を考慮して、必要な対応を行うように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援という介護の基本を念頭に利用者様が出来る事は可能な限り、ご自分でやって頂きながら生活支援を行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様の精神的負担を少しでも軽減できるように、不安に思っておられる事や心配に感じておられる事に耳を傾け気持ちに寄り添うよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様と情報を共有しながら、馴染みの人や場所への支援をお願いし、出来る範囲で協力をしている。	馴染みの人や場との関係が薄れる中、本人の想いや家族からの情報を共有し、正月の外泊や墓参り、以前からのかかりつけ医の眼科の先生等、場や人との関係が途切れる事のないよう家族の協力を得ながら、出来る範囲で対応している。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係性などを踏まえ気の合う人との席の配慮をしたりアクティビティ等で誰か一人を孤立させないよう職員が間に入るなどし、皆が楽しく過ごせる様配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現時点では退去後にご相談や支援は行っていない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己選択、自己決定という、ご本人様の意思を尊重し、職員本位の支援を行わないよう配慮し、その人らしく生活して頂けるよう努める。	日々の些細な会話や仕草、表情の中から本人の想いを汲み取り、ケース記録に記載して職員間で情報共有し、必要な支援を見出し対応、対策案の検討を行い実践に繋げている。家族からの要望で、誕生日会に本人好みのお洒落な衣装が用意され、素敵な誕生日会を過ごした事例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様からご利用者様のこれまでの生活歴をしっかりと聞き出し時には利用されていた事業所などから情報収集を行いながら、本人様自身を知るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝礼や、夕方の申し送り、職員間ノートによる、情報共有、データベースでの管理による、情報共有で一人一人の状況が常に把握出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人様の現状を把握し、家族、ケアマネジャー、職員、他職種との連携も取りながら意見交換を通して、その方にとって今、一番必要な支援は何なのか考え、その方のための介護計画を作成している。	本人・家族の要望や生活歴、アセスメントや日々の業務内容から把握し、一番必要な支援が加味された介護計画を作成している。又、定期的にモニタリングが行われ多職種の意見やアイデアが反映された、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	普段と様子が違うと感ずることがあれば、記録に残すため生活行動記録には、些細なことも情報を入力し、実践や介護計画の見直しに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	他職員や、他職種の連携をとり、様々な方面からアプローチを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	支援学級の職場体験や、ボランティアの方を通じて地域の方々とのつながりを大切にする。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約の同意を得て、内科・訪問歯科・皮膚科は協力医に往診をしてもらっており、常に相談・報告を行っている。その他の専門科の受診はご家族様が対応してもらっている。必ず、協力医への情報提供は行っている。	入居時、本人、家族に説明同意を得ている。協力医、内科・訪問歯科・皮膚科・心療内科の往診がある。訪問看護ステーションとの連携、24時間協力体制が図られている。緊急時の常備薬等準備されている。個別に医療連携ノートに記載し、次回診療時に役立つ等情報共有している。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の些細な変化も訪問看護に報告・相談行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリを持参し情報提供を行っている。退院時はカンファレンスを行いADLの変化や食事形態の変化の情報共有を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の指針」を提示し、内容説明後家族様より同意を得ている。	入居時に「重度化した場合の指針」について説明同意を交わしている。職員も終末ケア研修を重ね、知識を深めている。看取りに至るまでの家族支援や揺れ動く想いも踏まえ説明を行い、家族・医療機関・職員等チームで方向性や支援方法を共有し、最期の時を穏やかに過ごして頂けるよう、終末ケアに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを作成し目の付く所へ掲示してある。事前に連絡方法など対応に対する注意を行い周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ハザードマップや防火・防災訓練等で避難経路を再確認している。	年2回避難訓練、ハザードマップや避難経路の確認をしている。夜間想定では職員2名体制での避難場所を設定しての訓練を実施している。訓練後、避難に要した時間・問題点など職員で話し合い再確認を行っている。備蓄品（水・非常食など）を準備している。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊敬の念を持ち、その人らしい生活が送れるよう、言葉使いやケアに対しても十分に配慮している。	利用者の人格や拘りを尊重し、その人らしく、その人に合った言葉かけ、声かけに努めている。職員間でも接遇について重視し、不適切な対応があれば注意、その場で言いにくい場合は、場所を変え上司に相談する等意識を高めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べたい物、したい事を出来るだけ聞き出し、本人様に「したい、したくない」「好き、嫌い」に配慮した支援を行う。思いに沿えるよう支援出来るよう努める。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけ一人一人のペースを大切にしよう心掛けているが、難しい状況の時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品や髭剃り、お気に入りの服など、本人様の身だしなみや、おしゃれが出来るよう毎日、支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事食の時等、それぞれの出来る事、カット・味付け・盛り付け等、一緒に行っている。日常では、お盆拭きや、テーブル拭き等を行ってもらっている。	栄養士考案の献立がランチセンターから届けられている。誕生日はリクエストメニューや手作り料理、行事食、ちらし寿司、おはぎ、デリバリーピザ等、食事前にDVDを見ながら10分間の口腔体操を行い誤嚥予防する等、食を楽しむ工夫もしている。利用者の残存機能に合わせて、お盆拭きやテーブル拭き等をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士の指示のもと、食事を提供している毎食の食事量や水分量はしっかり記録管理をし、声掛けや自力で摂取するのが難しい方には、一部介助にてなるべく召し上がって頂くよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科医の指導のもと口腔ケアを適切に行っており、利用者様の残存機能を生かしながらケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	日中はリハパンから布パンに更新したり、排泄の声掛けや、職員見守りにて出来る限り自力にて行えるよう支援している。	床やドアにはユーモラスなイラストが表示され、トイレに迷う事なく行く事が出来る。トイレ誘導時にはプライバシーを損なう事のないよう声かけに配慮している。居室にポータブルトイレがあり、座位での排泄を基本に取り組んでいる。リハビリパンツが日中は布パンツに改善された等自立支援に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分や、牛乳など摂取、主治医指示のもと配薬による排便コントロールを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	曜日や時間帯などに応じる事が出来ないように思うが、本人様が着たい洋服や準備など、職員と一緒にしようとしている。また、入浴剤に家族様手作りの、バスソルトを使用している。	週2回午前浴が基本であるが、身体状況や本人の希望等、柔軟に対応をしている。入浴後の洋服も職員と一緒に選んだり、家族手作りの入浴剤やバスソルトを使用する等、入浴を楽しむ為の工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	居室の明るさや、室温、ベッドの高さ臭い等環境に注意を払いながら安心して休んでいただけるよう支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬剤師支持のもと支援を行っているが薬の目的や副作用などについては各自、完全には理解できていない所がある。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	歌や体操、おやつ作り、レク活動、日々のお手伝いなどで役割を担って頂くなどして楽しみごとの支援をしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	コロナ禍の影響で現状、外出が出来ていない。	初詣・花見・菊花展等、年間外出行事がコロナ禍で難しくなった中で、外気に触れる為の洗濯物干し、近隣の散歩、敷地内の茶園作りや室内で出来る事は何かあるか考え、工夫しながら支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	一部の方であるが財布を持っていることで安心される方は、財布を持ち、一緒にお金の確認をしている。ある方は職員一部管理のもと、自動販売機でジュースを買えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家屋様から拒否なく日中であれば、本人様の希望に沿って電話出来るよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた飾りつけや壁に行事の写真などの展示を行っている。又、トイレ場所やご自身の居室が分かりやすくなるよう工夫を行い利用者様が不安にならないよう努めている。</p>	<p>共有空間は職員と一緒に作成した、季節感溢れる飾り付けがされ、椅子に座って窓越しに眺める風景や笑顔でほっと落ち着けるよう、やすらぎのある工夫がされている。心が和む分かりやすいイラストは、不安なく移動出来るよう配慮がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下に椅子を置いたり、リビング内にテレビを2カ所設置してありフロア内どこからでもテレビが見えるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が使用されていた馴染みの物(家具・置物・写真等)使用して頂いている。</p>	<p>居室入り口は、名前の他に名所の写真が飾られている。室内はそれぞれ壁紙や床材、カーテンが異なっていて和風模様で特徴がある。ベット以外は馴染みの物や使い慣れた物等、持ち込みが自由で自分好みに家具、置物、写真が飾られている。掃除も行き届き清潔感があり、居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>共同トイレの場所やリビング等が分かりやすいように大きく案内が貼ってあり、居室の入り口にはご自身の部屋だと確認できるよう顔写真を貼ったりしている。</p>		

V アウトカム項目() ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念に基づき職員一同が共有し、日々の業務の中で実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの影響で、地域の方々や、他事業所との交流は出来ていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々に向けた介護相談窓口はあるが地域の方の相談はない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナの影響もあり2月に開催して以降は行えていない。市への書類は提出している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の中で状況を報告し、問題があれば相談し解決に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束の研修や、施設内勉強を行い職員一同、身体拘束を行わないようケアに努める。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	事業所の勉強会や施設内勉強会を行い意見交換を行い職員が不適切なケアを行わないよう虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内研修等で権利擁護の知識と理解を深めそれらを活用出来るよう入居者様と関わっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に内容説明後、必ず疑問等の質問が無いかの確認を取っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナの影響で、2月以降行えていないが家族会を開き、ご家族様からの意見や要望を出して頂き、カンファレンスで話し合い、可能な限り要望に応えられる様対応している。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>年2回の面談の機会を設けている。月の会議でも個々に意見は無いかの確認も行っている。事業主に直接届く意見箱を設置している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>半年に1回個人評価シートを使用し、目標設定・目標達成度の評価を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内研修を毎月行っている。課題を自ら決めて発表する。事業所研修にも参加を促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者との交流する機会が無い。今後の課題である。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の情報を職員間で共有して一日でも早くグループホームでの生活に慣れていただくように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時に家族様の要望等を伺い出来る限り応じれる様務める。入居者様に担当職員をつけ、連絡や日々の様子等を伝えて信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者様と家族様のニーズをしっかりと把握し、必要に応じた、対応つをするよう努める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	共同生活の場である事も説明しつつ、出来る事は、可能な限りやっ頂き、自立支援を念頭に良い関係を築けるよう心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時などに最近の状況などを報告し家族様の思いを伺い、気持ちに寄り添うよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様と情報を共有しながら、馴染みの人や場所への支援をお願い出来る範囲で協力をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様が孤立しないように定期的に席替えを行い職員が間に入り孤立すること無く、皆さんと良好な関係が築けるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現時点では、退去後に、相談や支援は行っていない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己選択。自己決定、ご本人様の意思を尊重し、一人一人の思いに寄り添うよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントや、本人様、家族様からの情報を基に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝礼や、夕方の申し送り、生活記録をIパットで管理して情報共有し、把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員や、本人様や、家族様、他職種の意見等をもとに、ケアマネジャー中心に情報共有しその方に合ったプランの作成を行う。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>体調変化や、感情変化等、変わったこと、些細な事まで、全て、生活記録に残し実践や介護計画の見直しに反映されている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個々のニーズに対応して必要なサービスは他事業所、外部に依頼している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>支援学級の職場体験やボランティアを通じて地域の方とのつながりを大事にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科・心療内科・訪問歯科・皮膚科の往診してもらっている。その他は家族様に対応をお願いしている。必ず協力医への情報提供は行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	健康管理については週1回の訪問看護と介護職員が連携し看護職が助言・指示を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリを持参し情報提供をしている。退院時は事前に情報を聴取しカンファレンスを行いADLの変化や、食事形態の変更等、情報の共有を行う。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の指針」を提示し内容説明後、家族に同意を得ている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを作成して、事前に連絡方法など、対応に対する注意を行い周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ハザードマップや防火・防災訓練等で避難経路を再確認している。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格を尊重し、声掛け等にも注意をしている。又、研修などを通して尊厳に配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定できるような声かけを行うよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先になる事もあるが出来る限り希望に添えるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品や、髭剃り、洋服選び等、思表示できる方に関してはご本人にしましょう。そうでない方に対しては職員が行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事食の時など、盛り付けや、食材を刻んでもらったり、それぞれが出来る事を手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士の指示のもと、食事を提供している個々の食事形態に応じて対応している。一日の必要な水分量は摂取できるよう提供し記録管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。訪問歯科のサービスも受けて相談できる状況にある。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握して個別に対応している。定期的なトイレ誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄記録をもとに、腹部マッサージや乳製品などを提供、なかなか、自然排便、便秘予防に取り組んでいるが主治医の指示のもと、配薬による排便コントロールも行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴表のもと、週2回の入浴を実施。体調不良等の日は柔軟に対応しているが、入浴時間や曜日などは希望に沿っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	安心して休んで頂けるよう、利用者様の希望に沿えるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医療ノートを活用して薬の変更についても必ず申し送りなど職員間で共有している、副作用については各自で把握しているが、皆が把握できているわけではない。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の生活の中での役割として洗濯干しや、たたみ、お盆拭きなど出来る事を役割として提供している。楽しみとしてはレク活動や、歌、体操を毎日行う。気分転換を兼ねて、時には、デリバリーを頼んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナの影響で外出や、散歩は行えていない。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一部の方のみ所持されており、管理もご自分でされています。その他の方はホームで預かっている。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持参されている方は自由に使用されている。希望者には対応している。手紙も希望される方に対しては支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	生活感や季節感が出せるよう廊下に展示物や行事の写真などを展示している。又、食堂やトイレが分からなくなるような工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下の日の当たる場所に椅子を置き、日光浴したり、外の風景が観察できるようにしている。リビングのテレビは2カ所に設置しどこからでもテレビが見れるように工夫されている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に使い慣れたタンスや馴染みの有る物を持ってきて頂き安心して暮らしてもらっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	完全バリアフリーで廊下や、部屋、浴室などに手すりが備わっている。食堂なども床に大きなシールの案内が貼ってあり、分かりやすくなっている。		

V アウトカム項目(2 ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム桃太郎

作成日 令和 2年 11月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の付き合いが希有であり、交流が少ない。地域資源の活用が不十分である。	地域住民と関わりが持てるようにし、事業所自体が地域の一員として日常的に交流できるようにする。	市区の担当者などのアドバイスをもらう。地域包括、社会福祉協議会での取り組みに参加したりし、交流を作る。	1年
2	35	近隣住民との防災の協力体制を築けてない。	ハザードマップを活かし災害に依じての協力体制を築く。	近隣住民との対話が行われるべきだが出来てないので関係構築を作るよう、地域の長に協力を求める。	1年
3	4	運営推進会議を活用した取り組みが不十分である。	運営推進会議を活かし意見やサービス向上目指す。	市区の担当者の方も呼べるようにし、呼べるようになればご意見をいただき、それを活かす。	1年
4	5	市、区との連携を強める必要があるが、協力体制を築くまでにはなっていない。	市、区の担当者と日頃から連絡が取れる関係を築く。	市、区の窓口の日頃から足を運びまずは、顔なじみになる。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。